

授業科目 解剖学

【担当教員名】 山口 康昭	対象学年	1	対象学科	視機
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	2	時間数	30
【ディプロマポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	○	◎	○
【概要・一般目標：GIO】 人体の基本構造を把握し、体系的に理解する。人体を構成する要素である、骨格系、筋系、循環器系、内臓系、神経・感覚器系について、形態および構造について理解する。				
【学習目標・行動目標：SBO】				
<ol style="list-style-type: none"> 1. 人体を構成する細胞の構成要素と機能を説明できる。 2. 細胞から成り立つ組織の四大分類とその特徴を説明できる。 3. 生活行動を支える運動器系について、形態と構造を説明できる。 4. 生体内の流通経路としての循環器系について、形態と構造を説明できる。 5. 呼吸と栄養摂取の機構について、形態と構造を説明できる。 6. 排泄および性と生殖に関する機構について、形態と構造を説明できる。 7. 神経系と感覚器系について、形態と構造を説明できる。 				
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号 学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論	解剖学とは 解剖学の必要性 解剖学用語		1, 2 講義
2	組織学 1	組織学総論 人体を構成する細胞と細胞内小器官		2 講義
3	組織学 2	組織学各論 上皮組織・支持組織・筋組織・神経組織		2 講義
4	骨格系 1	骨学総論 骨の構造		3 講義
5	骨格系 2	骨学各論 頭蓋・体幹・上肢・下肢		3 講義
6	筋系	頭頸部および体幹の筋 上肢・下肢の筋		3 講義
7	循環器系 1	心臓の構造 血管の構造		4 講義
8	循環器系 2	動脈系・静脈系・リンパ系		4 講義
9	消化器系	消化管 肝胆道系・膵臓		5 講義
10	呼吸器系	気道 肺		5 講義
11	泌尿器系	腎臓 尿路		6 講義
12	生殖器系	性腺 発生学序論		6 講義
13	神経系 1	中枢神経系		7 講義
14	神経系 2	末梢神経系		7 講義
15	感覚器系	感覚器各論		7 講義
【使用図書】				
	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	入門人体解剖学 改訂第5版	藤田 恒夫	南江堂	2012・5,000円＋税
参考書	あたらしい人体解剖学アトラス	パトリック・W・タンク、トーマス・R・ゲスト、佐藤 達夫 訳	メディカル・サイエンス・インターナショナル	2009・7,000円＋税
その他の資料				
【評価方法】 定期試験（筆記試験）および出席状況等の総合評価による。		【履修上の留意点】 短期間に「解剖学」全般を学習しますので、講義後には必ず復習してください。疑問点は質問することにより解消し、各自に主体的に学ぶ姿勢を期待します。		